



## 看護師 mini ブログ



今回は、当院の「消化器外科病棟の分野別ラダーの作成と活用」が、消化器看護雑誌に特別企画で掲載されたので紹介します。

当院では、2014 年度に分野別ラダーを作成し、導入しています。各分野(診療科ごと)に必要な看護実践能力と、それを獲得するための教育体制を可視化する目的で作成しました。現在8分野(循環器・消化器内科・消化器外科・運動器・眼科・感染管理・内科系外来・外科系外来など)の分野別ラダーがあり、毎月職員が、各分野の詳細な項目ごとに自己学習しチャレンジしています。

各分野における日常看護に必要な能力の具体的評価(知識・技術・教育・管理の領域)でするので獲得すべき能力内容がわかりやすく、自立を求められる専門職である私たちにぴったりでです。



表紙に紹介されています！  
興味のある方は、読んでくださいね

このブログを読んで頂いている看護学生さんや看護師の皆様。香川県立病院では、これまでの経験知を看護実践能力として可視化し、次へのステップアップを支援しています。

皆さんの学びと経験を大切にしています・・・。

特別企画  
**消化器外科病棟の分野別ラダーの作成と活用**

香川県立白鳥病院

看護師長 細川信子  
(ほそかわ のぶこ) 香川県立飯山高校専攻科看護科卒業後、1980年香川県立病院に就職。香川県立中央病院、香川県立津田病院などを勤務し、2007年香川県立白鳥病院に異動。2013年看護師長に昇任、現在に至る。

看護部長 松下明美  
(まつした あけみ) 香川県看護専門学校公衆衛生看護助産学科卒業後、1982年香川県立病院に就職。香川県立津田病院、香川県立中央病院で勤務しつつ、2005年香川大学大学院医学系研究科修士課程修了。2011年香川県庁に異動。2013年香川県立中央病院に副看護部長で異動。2014年香川県立白鳥病院に異動。2015年同病院看護部長に昇任、現在に至る。

副看護師長 藤井智子  
(ふじい ともこ) 国立療養所東徳島病院附属看護学校卒業後、1982年香川県立病院に就職。香川県立白鳥病院、香川県立中央病院を経て、2009年認知症看護認定看護師資格取得、現在に至る。

病院の概要  
当院は、香川県東部の2市にまたがる大川医療圏(人口8万5,000人)にある地域の中核病院である。病床は急性期病床150床、訪問診療や訪問看護も行っている地域密着型の病院で、循環器内科、消化器内科、消化器外科、整形外科、眼科を主に診療している。  
看護部理念に「地域の方々に対して、安全で安心できる良質な看護を提供します」を掲げており、地域の高齢化率が38%と高いことから、高齢者の特徴や認知症ケアを加味した安全で安心できる看護を目指している。

分野別ラダー作成に関わった松下看護部長、消化器病棟の細川看護師長、藤井副看護師長です

